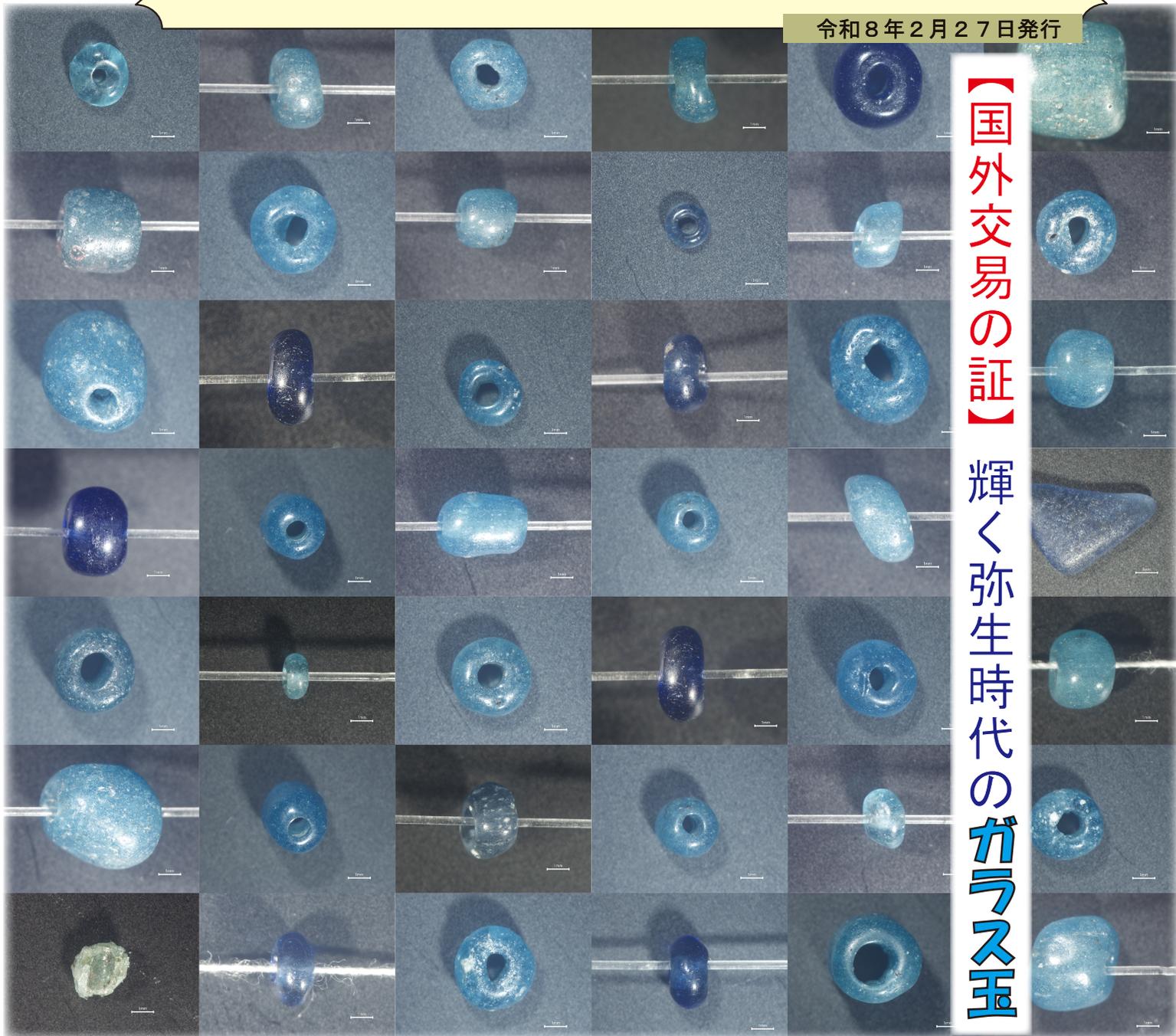




埋文だより

第96号

令和8年2月27日発行



【国外交易の証】

輝く弥生時代のガラス玉

名主原遺跡出土のガラス玉

県立埋蔵文化財センターでは、^{みょうずばるいせき}名主原遺跡（鹿屋市吾平町）の整理作業を進めています。同遺跡では、^{かんじょうどこうぼく}花卉形住居跡や環状土坑墓群などが検出され、古墳時代の土器（成川式土器）や鉄器が出土しています。また、空色や紺色のガラス玉（小玉）が多数出土しています。ガラスの成分を分析したところ、弥生時代後期ごろの可能性が高いことが分かりました。当時、国内でガラスを生産する技術はまだなかったことから、国外と交易があった証と言えます。

目次

- ・名主原遺跡出土品 弥生時代のガラス玉…………… 1
- ・発見！発掘速報…………… 2～3
- ・現地説明会を開催！…………… 4～5
- ・ワクワク考古楽@沖永良部島…………… 6～7
- ・自宅で遺跡を見学しよう…………… 8



集落と河川をつなぐ道？

いえのいせき
一家野遺跡 (志布志市志布志町帖)



令和7年10月から発掘調査を行っている家野遺跡は、^{うるがの}潤ヶ野小学校から約1km南のやや小高いシラス台地縁辺部に位置しており、南西側に流れる柳井谷川へ向けて下る地形となっています。

今年度は、主に縄文時代早期から晩期の調査を行っており、この時期に該当する土器や石器などのたくさんの遺物とともに、^{たてあなたても}堅穴建物跡1軒、^{みぞじょういこう}溝状遺構1条が検出されました。堅穴建物跡は平面が楕円形の約3m×3.5m程度の大きさで、中には約40cmの大きな台石（まな板として使われたか？）も出土しました。溝状遺構は、幅約2.5m、深さ約40cmで、Uの字に掘りこまれており、住居から河川方向へ台地をつなぐように作られていました。台地周辺ではたくさんの土器が出土しており、この溝は台地や遺跡周辺に住んだ人たちが、河川を往来するために作った道である可能性が考えられます。今後どのようなものが発見されるか楽しみです。



遺跡空撮（西側から）



溝状遺構



堅穴建物跡



昔の人々の暮らしをイメージしながら

いけひら
一池平遺跡 (霧島市横川町上ノ)



池平遺跡は、標高約350mのシラス台地縁辺部に位置しており、縄文時代早期を中心とした遺跡です。国道504号（溝辺道路）改築事業に伴って、工事前に遺跡の発掘調査を行い、出土したものの記録を残しています。これまでに、旧石器時代の、^{さいせきじん}細石刃・ナイフ形石器等の石器が出土しています。縄文時代早期では、集石遺構20基以上（調理施設と考えられる）、石器製作跡（^{せきぞく}石鏃（矢じり）等）を作っていた場所、土器集中か所（一か所にたくさんの土器が集められているところ）などの遺構や、矢じり、^{だせいせきふ}打製石斧、^{すりいし}磨石、^{たたきいし}敲石、^{いしざら}石皿などの遺物が見つっています。「ここで矢じりを製作し、それを使って狩猟を行い、土器や磨石、敲石、石皿、集石などを使って料理をして…」というような当時の生活のイメージが膨らみます。まだ調査を進めており、これからどのようなものが発見されるか楽しみです。



発掘調査風景



遺物出土状況



遺物集中部検出状況



集石



出土した石器

現地説明会を開催!!

県立埋蔵文化財センター、(公財)埋蔵文化財調査センターでそれぞれ2遺跡の現地説明会を開催しました。

— 北山遺跡 (阿久根市山下) — 主催：(公財)埋蔵文化財調査センター



令和7年10月11日(土)に開催しました。当日は秋晴れに恵まれ、地域の方々をはじめ、市内外から110名の参加がありました。

北山遺跡は、縄文時代から近世にわたる遺跡です。今回の調査で、鎌倉時代(約700年前)の大型の溝状遺構が複数発見されました。この溝は、幅約3m、深さ2mで、「薬研堀」と呼ばれる形の溝です。説明会では、これらの溝を高台と近くから見学できるようにルートを設定しました。人と比較するとその大きさがわかります。周囲に掘立柱建物跡も検出されており、規格的に配置されていた可能性があります。また、江戸時代にも複数の小規模な溝状遺構や大型の土坑が見つかっており、貝殻や獣骨が多数出土しています。この他にも、炉跡も検出されているため、長い間人が住み続けていたと考えられます。また、青磁・白磁・青花といった中国産の陶磁器や播鉢、石臼なども出土しています。参加された方々は解説に熱心に耳を傾け、質疑も活発に行われ、関心の高さが伺えました。



溝跡を近くで観察



高台から遺跡全体を眺望

— 焼山遺跡 (伊佐市大口羽月) — 主催：県立埋蔵文化財センター



トレンチ内遺構の解説

令和7年11月15日(土)に開催しました。当日は天気もよく、107名の方に参加いただきました。

焼山遺跡は終戦直後に、寺師見國氏を中心に4基の石棺について調査がなされていきました。その後、旧大口南中学校建設計画時に周辺の調査が実施され、90基以上の石棺墓が確認されました。そのため、旧大口南中学校建設時は校舎建設位置が変更され、石棺墓群はそのまま保存されていました。

伊佐・湧水地区特別支援学校(仮称)建設に伴う今回の調査では、トレンチ調査を行い、板石積石棺墓の一部を検出し、周辺からは土器片などが出土しました。説明会では、それらを見学いただくとともに、過去に伊佐市内で発掘調査を行った下鶴遺跡などの遺物も見いただきました。

今回のトレンチ調査内の様子を3Dにして、8ページに二次元バーコードを掲載しています。スマートフォン等で読み込んで、遺跡を体感することができます。ぜひお試しください。



周辺遺跡の遺物を展示

— 下原遺跡 (志布志市志布志町帖) — 主催：(公財)埋蔵文化財調査センター



令和7年12月6日(土)に開催しました。天気に恵まれ、180名を超える参加をいただきました。同遺跡は、元の地表面から約3mほど深い地点まで調査が進んでおり、旧石器時代(約24,000年前)の礫群や縄文時代早期(約11,000年)の集石、落とし穴、近世の墓跡などが見つかっています。それに伴う、土器・石器も出土しており、それぞれの時代について発掘担当から解説がありました。ルート中には、発掘体験エリアも設置され、参加者は普段あまり使うことのないねじり鎌などの発掘道具を使いながら、土器や陶磁器等の発掘を体験されました。また、同時開催で上野原縄文の森による火起こし体験や県立埋蔵文化財センターによる考古学講座が実施され、小さいお子さんや周辺にお住まいの方に大盛況でした。



地層の観察



集石(縄文早期)の解説



遺物の出土状況



考古学講座

— 池平遺跡 (霧島市横川町上ノ) — 主催：県立埋蔵文化財センター



令和7年12月13日(日)に開催しました。時おり小雨の降る中でしたが、120名を超える参加をいただきました。3ページにもあるように、同遺跡では縄文時代早期を中心とする遺構、遺物が出土しています。その中でも説明会での見どころは、アカホヤ火山灰の下位の地層に土器や石器が集中する地点でした。参加者は質問をされたり、近づいて遺物を見たりして興味深く観察されていました。

また、同時に当センター主催の池平遺跡周辺の遺跡の写真・遺物展示と霧島市教育委員会主催の「きりしま歴史散歩」が開催されました。現地説明会などを通して、古代の人がどのような場所で、どのような生活を送ったのか、昔の人々の生活に思いを馳せた1日でした。



調査状況の説明

【参加者のご感想】

- ・ 家の近所でこのような歴史を感じることができ、感動しました。また、火山噴火を何度も繰り返し、今の時代があること、命の繋がりに感激しました。
- ・ 実際に遺跡発掘をしている現場を見ることで、旧石器、縄文時代の生活を知ることができて、貴重な体験だった。



遺物の出土状況

みて・さわって ～考古学の世界～

当センターでは、『ワクワク考古楽』を実施しています。それぞれの地域で発掘された本物の考古資料を活用して、学校等で職員が授業支援を行うものです。今年度も県内各地から多数ご依頼をいただき、延べ1268名へ授業を行いました。また、年に1回は離島で実施しており、今年度は、沖永良部の和泊小学校、国頭小学校、大城小学校、知名中学校で実施しました。

ワクワク考古楽（授業支援）@沖永良部島

子どもたちは考古学に普段触れる機会が少ないとのことだったため、授業の序盤でなぜ遺跡を発掘するのか、発掘するとどのようなものが見つかるのかを説明しました。その後、沖永良部島の遺跡について、時代や出土遺物などを紹介しました。

子どもたちは、全国や県内に予想以上に多くの遺跡があることに驚いた様子でした。島内には141か所の遺跡が点在しており、今回はその中から住吉貝塚などの遺物（土器、石器、貝類、動物骨）を学校へ持参しました。子どもたちは、実際に遺物を手に取り、土器の表面の模様を観察したり触れたりして、石器の用途の違いによる形や表面の違いを感じ取っていました。また、貝塚にはイノシシやネズミのような陸上動物の骨だけではなく、ウミガメ、イルカ、クジラなど周辺の海の動物の骨も含まれており、それらを興味深く比較していました。

授業後には、「予想以上に島内に遺跡があって驚いた」「もっと沖永良部の遺跡について調べてみようと思った」などの感想が寄せられました。さらに休み時間には、授業を受けていない学年の子どもたちも遺物の周りに集まり、「これはなに？」と質問してくれたり、授業を受けた子どもたちが他の学年へ「これは矢じりで黒曜石からできているよ」と教えあったりする姿も見られました。子どもたちだけでなく、先生方も大変興味を持って聞いてくださり、終始楽しい雰囲気の中で授業を行うことができました。これを機に、子どもたちがより自分たちの地域の歴史や文化に興味を持ち、文化財に対する認識を高めてもらえればと思います。



石鏃の観察（和泊小）



出土した陶磁器は??（大城小）



沖永良部島の年代は本土とは違う!?(国頭小)



全校生徒でワクワク考古楽（知名中）

沖永良部島内の遺跡紹介！

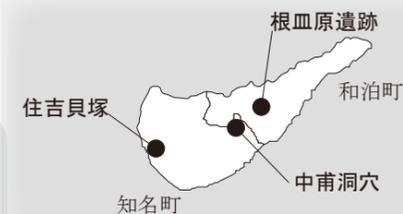
ワクワク考古楽で取り上げた遺跡について、紹介します。

中甫洞穴

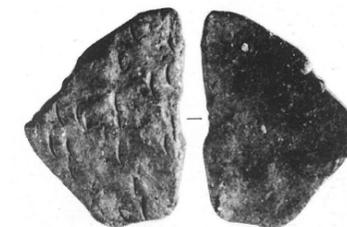
中甫洞穴は、島の最高峰である大山を囲むドリーネ（すり鉢状のくぼ地）に開口した鍾乳洞遺跡です。

昭和47年頃の岸田善光氏による土器採集をきっかけに、今からおよそ約6,000年前頃（縄文時代前期）に使用された土器が発見されました。発掘された土器は九州から持ち込まれたと思われる轟式土器で、縄文時代前期には九州と南島との交流があったことが分かりました。更に詳しい調査の結果、轟式土器の下層からより古い時期の爪形文土器も発見され、沖永良部の歴史は一気に縄文時代草創期まで遡ることとなりました。

当時の人々の生活跡に加え、埋葬人骨も見つかっており、洞穴が生活の場であると同時に墓域としても利用されていたことが判明しています。その学術的価値の高さから、2018年に鹿児島県指定史跡に指定されました。



遺跡位置図



爪形文土器

住吉貝塚



骨角器・貝製品

住吉貝塚は、島の北東海岸部に位置する大規模な貝塚遺跡群です。沖永良部島の代表的な遺跡の一つであり、国の史跡に指定されています。

この貝塚は、貝層が厚く、島の歴史において極めて重要な時期である縄文時代後期から弥生時代初頭にかけての生活の様子を伝えています。竪穴住居跡は遺跡全体で50棟ほど検出されています。

また、多量の魚骨や獣骨、貝製品、石器などが見つかり、当時の人々の食生活や道具の使用状況、航海術の一端をうかがい知ることができます。これらの発見

は、南西諸島における先史時代の生活や文化交流を知る上で、重要な手がかりとなっています。

根血原遺跡

根血原遺跡は、中世から近世の集落遺跡です。

遺構としては、当時の居住域を示す柱穴群のほか、掘立柱建物跡が5棟検出されています。また畑地の水はけをよくするためと考えられる石組みを伴う溝状遺構が確認されています。さらに大型土坑や土坑内から焼土や炭化物も見つかっています。



掘立柱建物跡

中世の出土品では中国産の青花が多く、青磁・白磁の碗類が目立ちます。一方、近世では本土産陶磁器と沖縄産陶磁器が圧倒的に多く、遺跡の最盛期がこの時期であったことが推察されます。これらは、島が海上交易の中継地として活発だったことを示しており、中世から幕末頃の島内の歴史を紐解く貴重な資料となっています。

～自宅で遺跡を見学しよう（3D・AR体験）～

当センターでは、遺跡そのものや、そこで見つかった遺構や遺物を3DデータにしてWeb上で公開しています。3Dデータにすることで、遺構を立体的に見ることができ、発掘している遺跡の様子をリアルに感じることができます。

以下の二次元バーコードをスマートフォンやタブレット等で読み取り、遺構を目の前でご覧ください。当センターホームページでは、今回紹介したデータ以外のデータも公開していますので、ぜひアクセスしてお楽しみください。

※ ARをご覧いただくためには、「STYLY」という無料アプリが必要です。二次元バーコードを読み込むと、インストール画面に移行しますので、案内に従い操作をしてください。スマートフォンやタブレットのOSのバージョン、機種等によってはご覧いただけないことがあります。

※ 左の二次元バーコードで3D体験、右の二次元バーコードでAR体験ができます。

<p>焼山遺跡14トレン 焼山遺跡14トレン 焼山遺跡14トレン 焼山遺跡14トレン</p>  	<p>焼山遺跡17トレン 焼山遺跡17トレン 焼山遺跡17トレン 焼山遺跡17トレン</p>  
<p>焼山遺跡19トレン 焼山遺跡19トレン 焼山遺跡19トレン 焼山遺跡19トレン</p>  	<p>焼山遺跡25トレン 焼山遺跡25トレン 焼山遺跡25トレン 焼山遺跡25トレン</p>  
<p>池平遺跡 (霧島市) 池平遺跡 (霧島市) 池平遺跡 (霧島市) 池平遺跡 (霧島市)</p>  	<p>銅戈 (下鶴遺跡) 銅戈 (下鶴遺跡) 銅戈 (下鶴遺跡) 銅戈 (下鶴遺跡)</p>  

当センターの見学は、土曜・日曜・祝日・年末年始を除き、毎日午前9時～午後5時まで、入館料は無料です。

当センターのホームページ及びフェイスブックは右側のQRからお入りください。

Instagramは、(https://www.instagram.com/kago-shima_maibun)からお入りください。

検索キーワード

上野原縄文の森

検索

クリック



ホームページ



フェイスブック

埋文だより 第96号

発行日 令和8年2月27日
編集・発行 鹿児島県立埋蔵文化財センター
〒899-4318 鹿児島県霧島市
国分上野原縄文の森2番1号
TEL 0995-48-5811・FAX 0995-48-5820
URL:<https://www.jomon-no-mori.jp>
E-mail:maibun@jomon-no-mori.jp